

鏡川流域 いきもの図鑑を作ろう 2025



2025年8月1日から8月31日の期間、スマートフォンアプリ「Biome(バイオーム)」を使って、鏡川流域に生息・生育する動植物の分布調査を行いました。市民の生活の源になっている鏡川には、どんないきものが暮らしているのでしょうか？

また、調査期間中、鏡川流域の各所にて、地域の皆様と調査を行うイベントも開催しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



イベントレポートの
詳細はこちら！

発見した数
1,104 件
発見した種類
479 種類

※ 上記の数値は調査期間内にアプリ「Biome(バイオーム)」にクエスト対象エリアから寄せられた全投稿を集計したものです。
※ 発見した種類は、アプリ「Biome(バイオーム)」のデータベース上での分類に基づき集計しています。分類(科および目)レベルの投稿は別種として集計し、種名が確定しなかった投稿(質問投稿)は種類の集計に含まれておりません。
※ 種名登録はアプリユーザー自身によるもののため、一部不確かなものが含まれている可能性があります。

イベント① 親子で川の恵みを楽しもう！



市内在住の親子を対象に、鏡川での水生生物調査イベントを行いました。網やバケツを使って水生生物を採集し、大きな水槽に入れて観察会をしました。お昼には2時間以上かけて丁寧に焼いたアユの塩焼きをいただきました。

川の恵みを頂きながら、生きものがあることの大切さを親子で振り返る場面も見られました。これをきっかけに、日常的に鏡川流域のいきものに興味を持っていただければ嬉しいです。

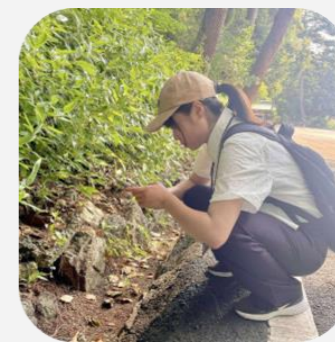


イベント② インターンシップ生といきもの調査！



鏡川の下流域に位置する山内神社及び鏡川みどりの広場で、令和7年度インターンシップ生と一緒に、いきもの調査を行いました。短時間でしたが、様々な植物や昆虫を見つけることができました。

普段通っている鏡川沿いには、たくさんの動植物が存在していることを知りました。この調査が、鏡川の自然環境を保全していく必要性を再確認する機会となりました。



イベント③ 土佐山学舎の児童と水生生物調査！



土佐山学舎4年生の環境学習会として、鏡川上流域(鏡川源流憩いの広場)で水生生物調査を実施しました。児童の皆さんは、サワガニやヘビトンボ、カジカガエルなど、たくさんの水生生物を見つけることができました。

見つけた水生生物の中には、きれいな水質環境を好むものもありました。実際に調査を実施したことで、鏡川がきれいな川であることがよくわかり、学びのある有意義な時間となりました。



サワガニ
Geothelphusa dehaani
甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科

鏡川いきものマップ2025

本ページでは、鏡川のおすすめの自然エリアと、そこで発見された注目のいきものを解説しています。
イラストと解説文の制作は、高知大学同好会「いきものや」と高知大学サークル「野生生物研究会」にご協力いただきました。



カワアナゴ

ハゼの仲間で、川の下流から河口に生息していて、昼間は砂の中や石のかげにかくれています。高知県では「イシモチ」とも呼ばれます。

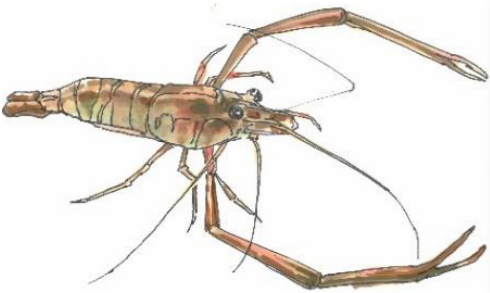


**上流域エリア
(鏡吉原)**



イワタバコ

水辺のしめった岩に生える植物です。夏になると、星の形をしたむらさき色の花をさかせます。葉はおひたしや天ぷらとして食べることができます。



テナガエビ

川や湖に生息していて、長いハサミを持つのが特徴です。このハサミを使って小魚などのエサを食べます。唐揚げにするとおいしいです。



中流域エリア(宗安寺)



分類名	投稿数(件)
種子植物	602
昆虫・クモ	185
質問投稿	100
魚類	54
甲殻類	50
その他植物	35
鳥類	29
は虫類	18
軟体動物	14
哺乳類	9
両生類	7
その他動物	1



カジカガエル

山の中の川や湖の周りに生息しています。体は灰色で、背中にブツブツがあります。夏になるとフィー、フィーと美しい声で鳴きます。



**下流域エリア
(鏡川町)**



ヘビトンボ

流れがおだやかで、水がとてもきれいな川でしか見られません。頭にある大きな強いアゴを使って、ほかの水生こん虫を食べています。

0 2.5 5 km

国土地理院 | 全国最新写真(シームレス)を加工して作成